



ヒマラヤ西端・パキスタン北部 カラコルム フーシェ谷

目的地はカラコルム山脈マッシュャーブルム（通称K1 7821m）のBC（ブルンブルマのキャンプ地 4300m）。映画「風の谷のナウシカ」のモデルとなったフーシェ村から、約1週間かけてのトレッキングだった。



マッシュャーブルム峰（中央）7821mを望むトレッキングが楽しめる（以上、撮影：浦添嘉徳）



フーシェ村のラマダン明けの祭

2019年5月29日～6月13日
5/30 イスラマバード→スカルド～5/31 デオサイ高原（高度順応）～6/1 スカルド→フーシェ村～6/2 フーシェ村→ドムスン～6/3 ドムスン→ブルンブラマン（K1のBC手前で停滞）～6/6 ブルンブラマン→ドムスン～6/7 ドムスン→フーシェ村～6/8 フーシェ村→スカルド～6/9 スカルド→チラース～6/10 チラース→イスラマバード
メンバー：森初芳、浦添嘉徳、小島信子、久保典子、御厨美穂子、石橋キヨミ

羽田から5日間かけてフーシェ村に着。翌朝、隊長が村を散策していると、「モリサン！ モリサン！」と日本語らしき呼び声が。何が起きたのか。隊長の森初芳さんは以前、この村を拠点に数々の山を登頂されており、フーシェ村の有名人だった。前日ポーターを募集したときには手をあげる人は皆無だったのに、「モリサン効果」で十分に集まってしまった。出発3日目はBC手前の3950mでキャンプ。途中、K1の頂が姿を現したが、山頂に傘雲がかかっている。その後、傘雲のお告げ通り雪で3日間の足止めを食らってしまった。ひたすら天気回復を待ったもののタイムアウト。

最初のナイフリッジを越えた先で、道が崩壊していてK1のBCまで行けずに4000m付近で撤退を余儀なくされてしまった。帰国の途もスカルドからイスラマバードの飛行ルートを陸路に変更させられたり、嵐による大幅な遅れで北京へ直行できずカラチを経由したりと、「インシャアラー」を体験したトラブル続きトレッキングであった。